

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 こん虫の冬ごしを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

こん虫は、まわりの温度によって体温が変わる生き物です。そのため、寒い冬には活動できず、それぞれのすがたで冬をこします。カマキリはたまごのかたまりで、テントウムシは成虫のまま落ち葉の下に集まって、モンシロチョウはさなぎで冬をこします。あたたかい春になると、また活動を始めます。

- 1 こん虫は温度によって体温が変わる。
- 2 こん虫は冬でも活発に活動する。
- 3 こん虫は種類によって冬のこし方がちがう。
- 4 こん虫はすべてたまごで冬をこす。
- 5 こん虫は寒くなるほど元気になる。

2 水のじゅんかんを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

海や川、地面の水は、太陽に温められて水じょう気になり、空へのぼっていきます。空の高いところは冷たいので、水じょう気は小さな水のつぶにもどって雲になります。雲のつぶが大きく重くなると、雨や雪となって地上に落ち、また海や川へと流れていきます。水はすがたを変えながら、地球をめぐっているのです。

- 1 水は温められて水じょう気になり空へのぼる。
- 2 雲は水とは関係なくできる。
- 3 水は一度雨になると二度ともどらない。
- 4 水はすがたを変えながら地球をめぐっている。
- 5 水じょう気は空で冷えても水にもどらない。

長い文章を読んでえらぼう【こたえ】

小4／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1・3

『温度で体温が変わる』(1)、『種類でこし方がちがう』(3)。冬は活動できず、こし方は一通りでなく、寒さで元気にはならない。

2 答え：1・4

『温められ水じょう気→空へ』(1)、『すがたを変えめぐる』(4)。雲は水から、水はめぐり、冷えれば水にもどる。

読み取るコツ

長い文章は二～三に区切って読み、大事なところに線を引きます。

正しい説明が2つなので、のこりのまちがいの理由も考えます。